

DSP内蔵 デジタルプリアンプ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDP-U50D MK2

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・ 運転者は走行中に操作をしない。
- ・ 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠警告・⚠注意	4
---------------	---

▶ 準備

まず、リセットする	5
-----------------	---

▶ 操作

サラウンドを設定する (SUR)	6
リスニングポジションを設定する (POS)	8
サブウーファースの出力を設定する (SUB)	10
低音・高音を設定する (BAS/TRE)	12
左右の出力バランスを調節する (BAL) ...	14
前後の出力バランスを調節する (FAD) ...	14
ソースごとに音響効果を記憶する (ソースサウンドメモリー)	15
CD/MDごとに音響効果を登録する (ディスクサウンドメモリー)	16

付録

使用上のご注意	17
故障かな?	18
保証書とアフターサービス	19
主な仕様	裏表紙

準備

操作

付録



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

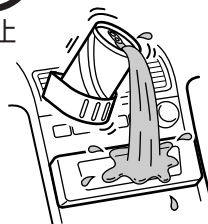


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

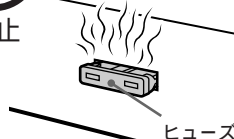


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



はじめに

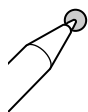
本機は、デジタルブリアンプ操作機能付きソニーバスシステムマスターユニット対応のデジタルブリアンプです。内蔵のDSP(デジタルシグナルプロセッサー)により音声信号をデジタル処理することで車室内の音場空間を自由に設定することができます。

ご注意

以下のマスターユニットでは、本機がXDP-U50Dとして動作するため、操作が本書とは異なります。操作のしかたについては、お使いになるマスターユニットに付属の取扱説明書の「DSP機能」(XDP-U50Dをつないだとき)をご覧ください。

XR-U80Z、XR-U70Z、XR-805、XR-705、XR-C717、CDX-C818、MDX-100、MDX-400

まず、リセットする



初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、マスターユニットのリセットボタンをボールペンの先などで押す。

サラウンドを設定する

SUR

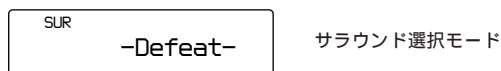
サラウンドを選ぶ

本機には10種類のサラウンドが用意されています。再生ソースにあわせてサラウンドを選ぶと、車内で臨場感あふれる音を体験することができます。

表示	音のイメージ	表示	音のイメージ
ホール Hall	コンサートホール	ライブ Live	ライブハウス
ジャズ Jazz	ジャズクラブ	チャーチ Church	残響音の多い教会
ディスコ Disco	ディスコ	オペラ Opera	オペラハウス
シアター Theater	映画館	スタジアム Stadium	野外スタジアムでのコンサート
パーク Park	広々とした野外	セラー Cellar	残響音の多い地下室
		デフィート Defeat	通常の状態

1 設定したいソース（CD、MD、テープ、ラジオなど）を再生する。

2 (SOUND) ボタンを押し「SUR」表示にする。



3 ダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンでサラウンドを選ぶ (上の一覧を参照)。



3秒後、通常のモードに戻ります。

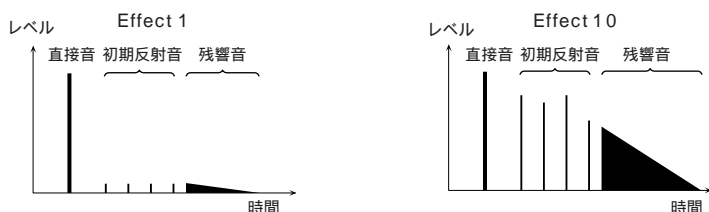
SUR

サラウンド効果の反射音・残響音を調節する

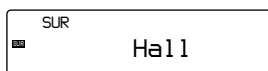
10種類のサラウンドには、それぞれ反射音と残響音のレベル(エフェクトレベル)を設定することができます。

エフェクトレベルは0から10まで設定でき、値が大きくなるほどサラウンド効果が大きくなります。

エフェクトレベル調節の目安



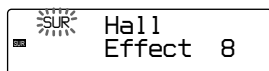
- 1 設定したいソース(CD、MD、テープ、ラジオなど)を再生する。
- 2 (SOUND) ボタンを押し「SUR」表示にする。



サラウンド選択モード

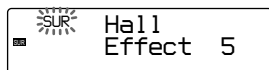
- 3 (SOUND) ボタンを2秒以上押す。

手順2のあと、3秒以内に行ってください。



エフェクトレベル調整モード

- 4 ダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンでエフェクトレベル(0～10)を選ぶ。



- 5 (SOUND) ボタンを2秒以上押す。

通常のモードに戻ります。

リスニングポジションを設定する

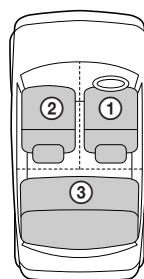
POS

リスニングポジションを選ぶ

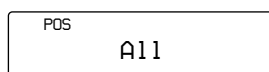
聞き手の位置(リスニングポジション)を選ぶと、各スピーカーからの音の到達時間を調整し、自然な音像定位を得ることができます。

本機には5種類のリスニングポジションが用意されています。

表示	聞き手の位置
All	全席(①、②、③)
Front	前席(①、②)
Front R	前席右(①)
Front L	前席左(②)
Rear	後席(③)

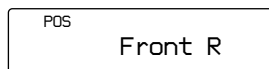


- 1** (SOUND) ボタンを押し「POS」表示にする。



リスニングポジション選択モード

- 2** ダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンでリスニングポジションを選ぶ(上の一覧を参照)。



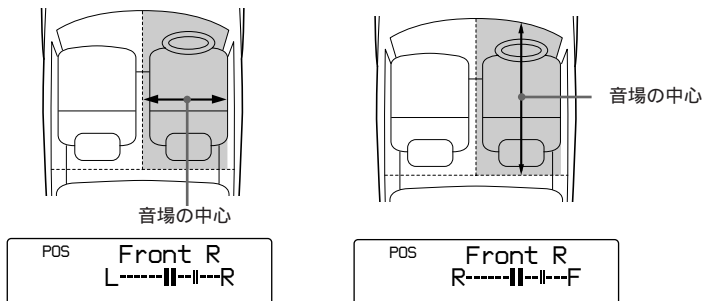
3秒後、通常のモードに戻ります。

POS

リスニングポジションを微調整する

5種類のリスニングポジションは、左右および前後方向に微調整できます。

Front Rでの調整例



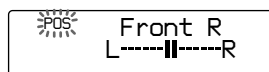
- 1 (SOUND) ボタンを押し「POS」表示にする。



リスニングポジション選択モード

- 2 (SOUND) ボタンを2秒以上押す。

手順2のあと、3秒以内に行ってください。

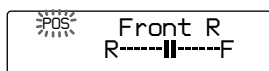


リスニングポジション調整モード (左右)

L (Left): 左、R (Right): 右

- 3 ダイヤルまたは (+)、(-) (音量) ボタンで左右に調整する。

- 4 数字ボタン (10) (→) を押す。



リスニングポジション調整モード (前後)

R (Rear): 後ろ、F (Front): 前

- 5 ダイヤルまたは (+)、(-) (音量) ボタンで前後に調整する。

- 6 (SOUND) ボタンを2秒以上押す。

通常のモードに戻ります。

サブウーファーの出力を設定する

SUB

サブウーファーの出力レベルを調整する

接続したサブウーファーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。

- 1 設定したいソース(CD、MD、テープ、ラジオなど)を再生する。
- 2 **SOUND** ボタンで「SUB」を選ぶ。



サブウーファー出力レベル調整モード

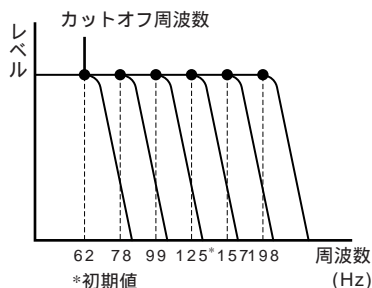
- 3 ダイアルまたは **(+)**、**(-)** (音量) ボタンで出力レベルを調整する。

3秒後、通常のモードに戻ります。

SUB

サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ

音の指向性(方向)は高い周波数成分によって支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作ることができます。たとえば、62Hzを選べば、62Hz以上の音が除かれます。



1 設定したいソース(CD、MD、テープ、ラジオなど)を再生する。

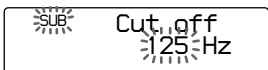
2 (SOUND) ボタンを押し「SUB」表示を出す。



サブウーファー出力レベル設定モード

3 (SOUND) ボタンを2秒以上押す。

手順2のあと、3秒以内に行ってください。



リスニングポジション調整モード(左右)

4 ダイヤルまたは(+)、(-)(音量)ボタンでカットオフ周波数を選ぶ。

62Hz ↔ 78Hz ↔ 99Hz ↔ 125Hz ↔ 157Hz ↔ 198Hz

5 (SOUND) ボタンを2秒以上押す。

通常のモードに戻ります。

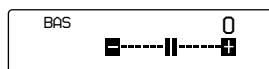
低音・高音を設定する

BAS/TRE

低音・高音を調整する

車内音響特性やソースに合わせて、低音または高音のレベルを調節することができます(ブースト/カット)。

- 1 設定したいソース(CD、MD、テープ、ラジオなど)を再生する。
- 2 **(SOUND)** ボタンを押し「BAS」(低音)または「TRE」(高音)表示にする。



低音(BAS)/高音(TRE)レベル調整モード

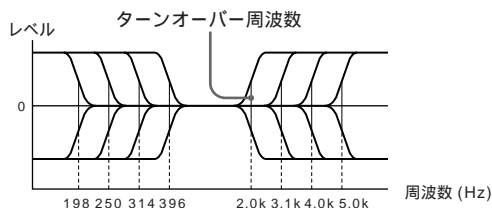
- 3 ダイヤルまたは **(+)**、**(-)** (音量) ボタンで出力レベルを調整する。

3秒後、通常のモードに戻ります。

低音・高音のターンオーバー周波数を選ぶ

低音または高音の変化開始周波数（ターンオーバー周波数）を選べます。

ターンオーバー周波数は低音と高音で4種類ずつ用意されています。



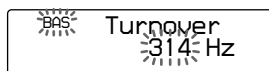
- 1 設定したいソース（CD、MD、テープ、ラジオなど）を再生する。
- 2 **(SOUND)** ボタンを押し「BAS」（低音）または「TRE」（高音）表示にする。



レベル調整モード

- 3 **(SOUND)** ボタンを2秒以上押す。

手順2のあと、3秒以内に行ってください。



ターンオーバー周波数調整モード

- 4 ダイヤルまたは **(+)**、**(-)**（音量）ボタンでカットオフ周波数を選ぶ。

低音（BAS） 198Hz ↔ 250Hz ↔ 314Hz ↔ 396Hz
 高音（TRE） 2.0kHz ↔ 3.1kHz ↔ 4.0kHz ↔ 5.0kHz

- 5 **(SOUND)** ボタンを2秒押す。

通常モードに戻ります。

左右の出力バランスを調節する

BAL

- 1 **SOUND** ボタンを押し「BAL」表示にする。



バランス (BAL) 調整モード

L (Left) 左、R (Right) 右

- 2 ダイアルまたは **(+)**、**(-)** (音量) ボタンで左右の出力バランスを選ぶ。

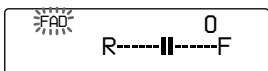
3秒後、通常モードに戻ります。

前後の出力バランスを調節する

FAD

本機では、サラウンドを選んでいるときと通常の状態 (Defeat) それぞれで、前後の出力バランス (フェーダー) が設定できます。通常、サラウンドを選ぶと、サラウンド効果を高めるためにリアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。この場合リアスピーカーの音量を上げるには、再度フェーダーの調節をしてください。

- 1 **SOUND** ボタンを押し「FAD」表示にする。



バランス (FAD) 調整モード

R (Rear) 後ろ、F (Front) 前

- 2 ダイアルまたは **(+)**、**(-)** (音量) ボタンで前後の出力バランスを選ぶ。

3秒後、通常モードに戻ります。

ソースごとに音響効果を記憶する

ソースサウンドメモリー

本機は自動的に(CD、MD、テープ、FM、AM、テレビ)ごとにサラウンド(SUR)、サブウーファー(SUB)出力レベル、低音(BAS)高音(TRE)の調整レベルを記憶しています(ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音場で再生することができます。

操作

CD/MDごとに音響効果を登録する

ディスクサウンドメモリー

本機では、ディスクごとにサラウンド (SUR)、サブウーファー (SUB) 出力レベル、低音 (BAS)、高音 (TRE) の調節レベルを登録することができます (50枚まで)。

この機能が使えるのは、プログラム演奏対応のCD/MDプレーヤーで再生しているディスクのみです。

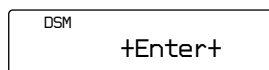
- 1 設定したいディスク (CD、MD) を再生する。
- 2 サラウンド (SUR)、サブウーファー (SUB)、低音 (BAS)、高音 (TRE) を調節する。
- 3 (SHIFT) ボタンを押す。
- 4 数字ボタン (9) (PLAY MODE) を押し、「DSM set」表示にする。



ディスクサウンドメモリー (DSM) 登録モード

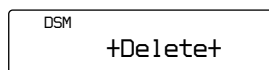
- 5 数字ボタン (6) (ENTER) を押す。

手順4のあと、5秒以内に行ってください。



登録した音響効果を消すには

上記の手順5で、数字ボタン (6) (ENTER) を2秒押します。



使用上のご注意

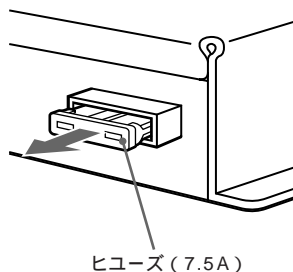
- ・ 本機にはデジタルボリュームを使用していますので、音量を極端に下げたお使用になると、音質が低下する場合があります。
- ・ 安全のため、運転中は車外の音が十分聞こえる程度の音量でご使用ください。
- ・ 本機とXDP-U50D、XDP-66EQ、XDP-600EQを接続すると、機能が正しく動きません。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">・ 音量を上げてください。・ マスターユニットのフェーダーはセンターに合わせてください。・ マスターユニットの音声出力/入力切り換えスイッチを①側にしてください。(取り付けと接続編もご覧ください)
POWERインジケーターが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">・ ヒューズが切れている。ヒューズを交換してください。・ アースコードが接続されていない。車体の金属部にしっかり接続してください。・ 本機のリモート端子への入力電圧が発生していない(または低い)・ 接続しているカーオーディオの電源が入っていない。電源を入れてください。
POWERインジケーターが赤く点灯する。	バッテリーの電圧が適切であるか(10.5 ~ 16V)確認してください。
オルタネーターの雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">・ 電源コード、ピンコードがオルタネーターに近い。オルタネーターから離してください。・ ピンコードが車両ハーネスに近い。離して配線してください。・ アースが不十分である。車体の金属部にしっかり接続してください。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)	別売り品 マスターユニット(DSPコントロール対応) XR-C7000XR-C5000、 CDX-C9000など
消費電流	0.8A	CDチェンジャー(アナログ出力) CDX-52、CDX-T62、 CDX-71など
周波数特性	15Hz~20kHz(フロント)	CDチェンジャー(デジタル出力) CDX-91など
SN比	103dB(フロント)	MDチェンジャー MDX-60など
ひずみ率	0.005%	ソースセクター(アナログ信号用) XA-C30など
入出力端子	バスコントロール入力端子×3 オーディオ入力端子×2 オーディオ出力端子×3 光デジタル入力端子×2	ソースセクター(デジタル信号用) XA-U40Dなど
外形寸法	220×30×173mm (幅/高さ/奥行き)	CDプレーヤー(スペクトラムアナライザー内蔵) CSX-300など
質量	約950g	CD/MDプレーヤー(グラフィックイコライザー内蔵) CSX-500EQ、 MDX-700EQなど
付属品	電源コード(一式) バスケーブル(2m×1) RCAピンコード(2m×3) 取付けビス(4) マジックテープ(1) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)	TVチューナー XT-40Vなど
別売りアクセサリ	バスケーブル(RCAピンコード付属) RC-61(1m) RC-62(2m)	パワーアンプ XMシリーズ各種
	RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m)	
	光ケーブル RC-98(5m)	

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111